

日本経済新聞

8月1日
日曜日

発行所 日本経済新聞社
東京本社 電(03)3270-0251
〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7
大阪本社 電(06)6943-7111
名古屋支社 電(052)243-3311
西部支社 電(092)473-3300
札幌支社 電(011)281-3211
電子版アドレス
<http://www.nikkei.com/>
購読のお申し込み
☎0120-21-4946
<http://www.nikkei4946.com>

核廃絶訴え笑顔の傘開く

原爆投下から65年を迎え、アンブレラ・プロジェクトが1日から順次催す。写真は「子どもの笑顔の写真を広げて平和を祈る」メリー性が内外の被災地で撮った核兵器廃絶のメッセージ。



笑顔の傘で平和を祈るイベントを開催する水谷孝次さん(7月19日、大阪市)

被災地で撮影、広島から順次催し
「悲惨さ考えてほしい」

「ジを発信したい」と話す。広島県呉市もその1人。母親にはやけど跡が残り、いわれのない偏見から就職や結婚で苦労した。

アンブレラ・プロジェクトの水谷孝次さん(59)は、東京から就職や結婚で苦労した授業で被爆者が受けたい心身の苦しみを話すことがあるが、生徒の関心が薄れてきたのが気がかりだ。01年の米同時テロ直後のニューヨークのほかに、04年のインド洋大津波、08年の中国・四川大地震などを訪れ、3万人以上の笑顔を取めた。

核廃絶と平和を祈る今回の催しでは「笑顔の大切さ、戦争の悲惨さを考えてほしい」と願う。

参加する市民の中には、近辺を訪れた人に平和へのメッセージ入りカードを配る。

校講師の石堂恵さん(52)を配る。

7日に平和祈念堂前で開かれるほか、沖縄でも14日、笑顔が大写真された傘を約100人が広げ、

近辺を訪れた人に平和へのメッセージ入りカードを配る。

校講師の石堂恵さん(52)を配る。

校講師の石堂恵さん(52)を配る。

校講師の石堂恵さん(52)を配る。

校講師の石堂恵さん(52)を配る。